

有機農産物の記録様式等の記入方法
(リスト系編)

- ほ場一覧
- 種苗一覧
- 資材一覧
- 機械・器具一覧
- 施設一覧

平成 26 年 1 月
(初版)

(様式例のご利用に当たって)

今回の様式例は、有機 JAS 認定に必要なほ場、種苗等の一覧表について、標準的な記載項目を示したものであり、Excel で作成しています。ご利用いただく際に、記入する項目がない場合や記入不要な項目がある場合は、様式例に項目等の追加や削除を適宜行い、生産の実態に沿ったものとしてご利用下さい。

各種様式例への記入方法は、下記を参照して下さい。

1. 各種一覧の共通項目

今回示している様式例(リスト系編)で共通する事項及びその記入内容は、つぎのとおりです。

(1) 生産行程管理者

認定を受けた生産行程管理者名を記入します。

(2) 生産者

生産者名を記入します。

(例) ほ場一覧の場合

ほ場一覧						
番号	通称	所在地	面積(a)	種類	区分	備考

生産行程管理者	農林水産有機グループ	← (1)
生産者	農林 太郎	← (2)

2. ほ場一覧

生産ほ場の情報等を記入します。各事項の記入内容は、つぎのとおりです。

(例) ほ場一覧例 (抜粋)

ほ場一覧						
生産行程管理者		農林水産有機グループ				
生産者		農林 太郎				
番号	通称	所在地	面積(a)	種類	区分	備考
1	自宅前	〇〇市〇〇町〇-〇-〇	10	田	有機	
2	寺の前	〇〇市〇〇町△-△	15	畑	転換期間中	H〇.〇.〇有機管理開始
3	学校北	〇〇市〇〇町□-□	10	畑	有機管理1年目	申請準備中
4						
5						

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)

(1) 番号

ほ場毎に付する番号等を記入します。

例：1, 2, 3・・・、a, b, c・・・、など

(2) 通称

ほ場の通称名を記入します。

例：自宅前、寺の前、など

(3) 所在地

ほ場の所在地を記入します。

(4) 面積 (a)

ほ場の面積を記入します。

(5) 種類

ほ場の種類を田、畑などと記入します。なお、ドロップダウンのリストの項目（田、畑、樹園地、牧草地、栽培場）から選択することもできます。

※ドロップダウンのリストの項目の追加及び削除の方法

ドロップダウンのリストに登録している項目以外の項目を入力したい場合や不要な項目がある場合には、つぎの方法によりドロップダウンのリストの項目の追加、削除をして下さい。

ア 該当するセルを選択（複数選択しても可能）し、メニューバーの「データ」から「データの入力規則」を選択し、「設定」タブを選択します。

イ 項目を追加する場合

「設定」タブを選択した後、「元の値」の欄に設定されている内容の後ろに「, (コンマ、半角)」と追加内容を入力（例：, 採取場 など）し、「OK」ボタンをクリックします。

ウ 項目を削除する場合

「設定」タブを選択した後、「元の値」の欄に設定されている削除したい内容を削除し、「OK」ボタンをクリックします。

(6) 区分

ほ場の区分を有機、転換期間中、有機管理1年目などと記入します。なお、ドロップダウンのリストの項目（有機、転換期間中、有機管理1年目）から選択することもできます。

ドロップダウンのリストの項目以外を入力する場合は、リストの項目を追加してから選択して下さい。

ドロップダウンのリストの項目の追加又は削除の方法は、2ページ目の※印を参照して下さい。

(7) 備考

転換期間中や有機管理1年目のほ場の有機管理開始年月日やその他、特記すべき内容などを記入します。

3. 種苗一覧

生産ほ場で用いる種苗の情報等を記入します。各事項の記入内容は、つぎのとおりです。

(例) 種苗一覧例 (抜粋)

種苗一覧								
生産行程管理者		農林水産有機グループ						
生産者		農林 太郎						
番号	作物名	種・苗の別	入手方法		種苗の種類	使用農業名	有機種苗の入手困難な理由	備考
				購入先				
1	米(コシヒカリ)	種	自家採種		有機			
2	トマト(桃太郎)	苗	購入	〇〇種苗(株)〇〇店	非有機(化学肥料、農薬未使用)		有機種苗の販売がない	
3	ほうれんそう(クロノス)	種	購入	〇〇種苗(株)〇〇店	非有機(農薬使用)	チウラム	品種の維持更新	

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)

(1) 番号

種苗毎に付する番号等を記入します。

例：1, 2, 3・・・、a, b, c・・・、など

(2) 作物名

生産している作物と品種の両方、または作物、品種のいずれかの名称を記入します。

例：米（コシヒカリ）、米、コシヒカリ など

(3) 種・苗の別

使用する種苗の別を種、苗などと記入します。なお、ドロップダウンのリストの項目（種、苗）から選択することもできます。

ドロップダウンのリストの項目以外を入力する場合は、リストの項目を追加してから選択して下さい。

ドロップダウンの項目の追加又は削除の方法は、2 ページ目の※印を参照して下さい。

(4) 入手方法（購入先を含む）

種苗の入手方法を自家採種、購入などと記入します。なお、ドロップダウンのリストの項目（自家採種、購入）から選択することもできます。

ドロップダウンのリストの項目以外を入力する場合は、リストの項目を追加してから選択して下さい。

ドロップダウンのリストの項目の追加又は削除の方法は、2 ページ目の※印を参照して下さい。

(5) 種苗の種類

使用する種苗の種類が有機種苗かどうか、また、有機種苗でない場合には入手以前の使用禁止資材の使用の有無について有機、非有機（化学肥料、農薬未使用）、非有機（農薬使用）などと記入します。なお、ドロップダウンの

リストの項目（有機、非有機（化学肥料、農薬未使用）、非有機（化学肥料使用）、非有機（農薬使用））から選択することもできます。

ドロップダウンのリストの項目以外を入力する場合は、リストの項目を追加してから選択して下さい。

ドロップダウンのリストの項目の追加又は削除の方法は、2 ページ目の※印を参照して下さい。

（6）使用農薬名

有機種苗でない種苗で農薬を使用している場合は、使用された農薬名や農薬の有効成分名を記入します。

（7）有機種苗の入手困難な理由

有機種苗でない種苗を入手した場合に、有機種苗が入手困難であった理由を記入します。

例：「有機種苗の販売がない」、「品種の維持更新」など

（8）備考

その他、特記すべき内容などを記入します。

4. 資材一覧

生産ほ場などで用いる肥料、土壌改良資材、農薬など資材の情報等を記入します。各事項の記入内容は、つぎのとおりです。

(例) 資材一覧例 (抜粋)

資材一覧					
生産行程管理者		農林水産有機グループ			
生産者		農林 太郎			
(1) 肥料及び土壌改良資材(別表1関係)					
番号	資材名等	製造者名等	使用目的	製造工程の確認	備考
肥-1	○○○○○	○○肥料(株)	追肥	製造証明確認済み	
土-1	△△△△△	○○農材(株)	○○○○	認定機関確認済み	
肥-2	ぼかし肥料	自家生産	元肥	自ら確認	米糠、…
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
(2) 農薬(別表2関係)					
番号	資材名等	製造者名等	使用目的	備考	
農-1	BT水和剤	○○農薬(株)	アオムシの防除		
農-2	水和硫黄剤	○○化学(株)	うどんこ病の防除		

(1) 番号

資材毎に付する番号等を記入します。

例：1, 2, 3…、a, b, c…

肥-1…、土-1…、農-1… など

(2) 資材名等

資材名や商品名を記入します。

(3) 製造者名等

製造者名や販売者名を記入します。自家生産している場合は「自家」などと記入します。

(4) 使用目的

使用する目的を記入します。

(5) 製造工程の確認 (肥料及び土壌改良資材に限る。)

資材の製造工程が有機農産物 JAS 規格別表等に適合していることの確認方法を製造証明確認済み、認定機関確認済み、自ら確認などと記入します。なお、ドロップダウンのリストの項目(製造証明確認済み、認定機関確認済み、

自ら確認) から選択することもできます。

ドロップダウンのリストの項目以外を入力する場合は、リストの項目を追加してから選択して下さい。

ドロップダウンのリストの項目の追加又は削除の方法は、2 ページ目の※印を参照して下さい。

(6) 備考

その他、特記すべき内容などを記入します。

5. 機械・器具一覧

生産ほ場などで用いる機械や器具の情報等を記入します。各事項の記入内容は、つぎのとおりです。

(例) 機械・器具一覧例2 (抜粋)

機械・器具一覧						
生産行程管理者		農林水産有機グループ				
生産者		農林 太郎				
番号	機械・器具名	有機専用 慣行併用	個人使用 共同使用	保管場所	洗浄方法	備考
1	田植機	有機専用	個人	納屋	—	
2	コンバイン	慣行併用	共同	共同保管庫	水選	
3	耕うん機	慣行併用	共同	共同保管庫	使用前に水選	

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)

(1) 番号

機械・器具毎に付する番号等を記入します。

例：1, 2, 3・・・、a, b, c・・・ など

(2) 機械・器具名

機械名や器具名を記入します。

(3) 有機専用・慣行併用

機械・器具の使用が有機専用または慣行併用であるかを有機専用、慣行併用などと記入します。なお、ドロップダウンのリストの項目（有機専用、慣行併用）から選択することもできます。

ドロップダウンのリストの項目以外を入力する場合は、リストの項目を追加してから選択して下さい。

ドロップダウンのリストの項目の追加又は削除の方法は、2 ページ目の※印を参照して下さい。

(4) 個人使用・共同使用

機械・器具の使用が個人または共同であるかを個人、共同などと記入します。なお、ドロップダウンのリストの項目（個人、共同）から選択することもできます。

ドロップダウンのリストの項目以外を入力する場合は、リストの項目を追加してから選択して下さい。

ドロップダウンのリストの項目の追加又は削除の方法は、2 ページ目の※印を参照して下さい。

(5) 保管場所

保管する場所を記入します。

(6) 洗浄方法

使用する機械・器具が有機専用でない場合、洗浄の方法や洗浄する時期などを記入します。

(7) 備考

その他、特記すべき内容などを記入します。

6. 施設一覧

生産等に用いる施設の情報等を記入します。各事項の記入内容は、つぎのとおりです。

(例) 施設一覧例 2 (抜粋)

施設一覧								
生産行程管理者		農林水産有機グループ						
生産者		農林 太郎						
番号	施設名	所在地	面積(m ²)	用途	有機専用 慣行併用	個人使用 共同使用	清掃方法	備考
1	納屋	千代田区霞が関〇-〇-〇	30	資材置場	有機専用	個人	掃き掃除	
2	機械保管庫	千代田区霞が関△-△-△	50	機械置場	慣行併用	共同	水選	

↑ (1) ↑ (2) ↑ (3) ↑ (4) ↑ (5) ↑ (6) ↑ (7) ↑ (8) ↑ (9)

(1) 番号

施設毎に付する番号等を記入します。

例：1, 2, 3・・・、a, b, c・・・ など

(2) 施設名

施設名を記入します。

(3) 所在地

施設の所在地を記入します。

(4) 面積 (m²)

施設の面積を記入します。

(5) 用途

施設の主な用途を記入します。

(6) 有機専用・慣行併用

施設の使用が有機専用または慣行併用であるかを有機専用、慣行併用などと記入します。なお、ドロップダウンのリストの項目（有機専用、慣行併用）から選択することもできます。

ドロップダウンのリストの項目以外を入力する場合は、リストの項目を追加してから選択して下さい。

ドロップダウンのリストの項目の追加又は削除の方法は、2 ページ目の※印を参照して下さい。

(7) 個人使用・共同使用

施設の使用が個人または共同であるかを個人、共同などと記入します。なお、ドロップダウンのリストの項目（個人、共同）から選択することもできます。

ドロップダウンのリストの項目以外を入力する場合は、リストの項目を追加してから選択して下さい。

ドロップダウンのリストの項目の追加又は削除の方法は、2 ページ目の※印を参照して下さい。

(8) 清掃方法

清掃の方法や清掃する時期などを記入します。

(9) 備考

その他、特記すべき内容などを記入します。

【改訂履歴】

(初版)

平成 26 年 1 月 10 日